

2027年度

摂食嚥下障害看護

認定看護師教育課程

(B課程：特定行為研修を含む)

募集要項

公立大学法人 新見公立大学
全世代型地域包括ケア研究センター

目 次

認定看護師教育課程

I. 教育理念	1
II. 教育目的	1
III. 認定看護師教育課程・摂食嚥下障害分野の3つのポリシー	1
IV. 摂食嚥下障害看護認定看護師教育課程の定員・教育期間・スケジュール	3
V. 科目及び授業時間数	5
VI. 受講者選抜試験実施要項	
1. 募集人員	6
2. 試験科目・日程・会場	6
3. 受験資格	7
4. 出願手続	7
5. 受験票の発行	9
6. 受講者選抜	9
7. 個人情報の利用目的	10
8. 合否の通知	10
9. 受講手続	10
10. 修了要件	11
11. 情報開示	11

公立大学法人新見公立大学
摂食嚥下障害看護認定看護師教育課程
(B課程：特定行為研修を含む)

公立大学法人新見公立大学摂食嚥下障害看護認定看護師教育課程の概要

I. 教育理念

【新見公立大学の教育理念】

新見公立大学は、「誠実・夢・人間愛」を建学の精神とし、人と人との繋がりが合う地域に根ざした大学として、地域を拓く優れた人材を育成するとともに、専門領域の教育研究の成果を国際的な視野に立ち広く社会へ還元することを目指す。【学則第1条(理念)を引用】

【認定看護師教育課程の教育理念】

新見公立大学摂食嚥下障害看護認定看護師教育課程では、高度専門化する保健・医療・福祉の現場において、看護を必要とする対象の課題解決および生活の質向上に貢献するために、生命の尊厳を基盤とする豊かな人間性と高い倫理観を有し、特定領域に関連した科学的根拠に基づいた水準の高い看護を実践できる人材を育成します。

II. 教育目的

保健・医療・福祉の課題が複雑化、多様化、重層化する地域社会において、自律した看護専門職として活躍できるための水準の高い実践能力、指導力、調整力を有する摂食嚥下障害看護認定看護師の育成を目指します。

1. 摂食嚥下障害看護分野において、個人、家族及び集団に対して、高い臨床推論力と病態判断力に基づき、熟練した看護技術及び知識を用いて水準の高い看護を実践できる能力を育成します。
2. 摂食嚥下障害看護分野において、看護実践を通して看護職に対し指導を行える能力を育成します。
3. 摂食嚥下障害看護分野において、看護職等に対し、コンサルテーションを行える能力を育成します。
4. 摂食嚥下障害看護分野において、多職種と連携・協働してチーム医療を推進していくための能力を育成します。

III. 認定看護師教育課程・摂食嚥下障害分野の3つのポリシー

1. 修了認定の方針（ディプロマ・ポリシー：DP）

認定看護師教育課程では、教育目標に沿って設定された教科目を履修し所定の単位を修得するとともに、特定の看護分野において水準の高い看護を実践するために必要な能力を学修した者を、課程修了者として認定する。また、対象の尊厳と意思を尊重し、豊か

な人間性と倫理観に基づいたケアリングを実践できる資質を備えていることも重視する。

- 1) 個人・家族・集団に対し、高い臨床推論力と病態判断力に基づき、熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護を、医療機関のみならず地域や在宅においても実践できる能力。
- 2) 看護実践を通じて他の看護職に対し指導ができる能力。
- 3) 看護職等に対して適切なコンサルテーションを行える能力。
- 4) 多職種と協働し、チーム医療のキーパーソンとしての役割を果たせる能力。

2. 教育実施の方針（カリキュラム・ポリシー：CP）

認定看護師教育課程のディプロマ・ポリシーを達成するために、特定行為研修を含む認定看護師教育課程のカリキュラムを以下の方針に基づき、教科目を特定行為研修に該当する共通科目・区分別科目、ならびに認定看護師分野の共通科目・専門科目・統合演習・臨地実習から編成し、学修成果を適切に評価する。

- 1) あらゆる場において看護を必要とする個人、家族及び集団に対して、それぞれの健康レベルに応じて、科学的根拠に基づいた安全な看護を実践できるよう、必要な知識・技術を習得するための教科目を系統的に配置する。
- 2) 認定看護師として水準の高い看護を実践するために、事例検討・シミュレーション・PBL などを取り入れた教育方法により高度な臨床推論力と病態判断力を育成し、特定行為を含む実践を支える基盤として全科目に科学的根拠に基づく看護（EBN）の視点を重視する。
- 3) 実習や統合演習を通して、実習や統合演習を通して、多職種と連携・協働する力と、地域包括ケアに対応した看護実践力を養い、地域医療・在宅医療での実習を重視するとともに、連携調整を担うリーダーシップの育成にも力を入れる。
- 4) 学修目標に基づき、筆記試験、レポート、演習・実習の観察評価、統合演習におけるパフォーマンスなどを含め、多面的かつ総合的評価を行う。なお、各教科目のシラバスには、到達目標・評価方法・評価基準を明記し、学修プロセスの透明性を担保する。

3. 受講者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー：AP）

認定看護師教育課程の教育理念および教育目的に基づき、以下の資質・意欲を有する看護職を受け入れる。また、受講希望者には、日本看護協会が示す認定看護師に「期待される能力」と、「コアとなる知識・能力」を十分に理解し、専門性の高い看護実践者として自律的に成長しようとする姿勢を求める。

- 1) 摂食嚥下障害看護に強い関心を持ち、当該分野における専門的知識・技術を深めたいという意欲を有する者。
- 2) 看護実践において、対象者の尊厳と意思を尊重し、豊かな人間性と高い倫理観をもってケアを提供できる者。
- 3) 科学的根拠に基づく看護（EBN）の視点を持ち、臨床推論力や病態判断力を高める

ことに主体的に取り組む者。

- 4) 看護職としての経験を活かし、他職種との協働や地域に根ざした看護実践を通じて、チーム医療や地域包括ケアに貢献しようとする者。
- 5) 看護実践の経験をもとに、他の看護職に対する指導や助言・支援を行い、専門職としての知見を共有する意欲を有する者。

* コアとなる知識・技術

- 1) 摂食嚥下機能とその障害に関する知識及びベッドサイドにおける評価技術
- 2) 摂食嚥下機能の評価結果に基づく適切な援助・訓練方法の選択に関する知識及び安全な実施技術
- 3) 誤嚥性肺炎、窒息、栄養低下、脱水の予防に関する知識及び増悪防止に向けたリスク管理技術

IV. 摂食嚥下障害看護認定看護師教育課程の定員・教育期間・スケジュール

教育課程	定員	教育期間
摂食嚥下障害看護	4名	2027年4月1日（木）～2028年3月31日（金）

* 特定行為区分「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」を組み込んでいます。

* 教育課程修了者は、公益社団法人日本看護協会が実施する認定看護師認定審査を受験する資格を取得できます。また、厚生労働省の特定行為研修修了証が授与されます。

2027年								2028年			
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入講式、オリエンテーション eラーニング (共通科目・区分別科目)					臨地実習 (特定) (★)		集合教育 (講義・演習・科目試験)		臨地実習 (認定)	統合演習 修了試験	

* eラーニングは自宅あるいは自施設での受講が可能です。但し、授業内容によっては来学が必要です。【登校日：eラーニング期間中（5～8月）に、演習・実習。8月には3日間の筆記試験】

* 臨地実習は、特定行為区分の実習と認定看護分野の実習を行います。

- ・ 特定行為区分の臨地実習 (★) は、原則として受講者の所属施設で行います。教育課程修了後、継続して指導医の指導を受け、各施設の体制に即した特定行為の実践基盤を持つことが重要です。当課程は、所属施設（もしくはその地域の病院など）を「協力施設」として臨地実習が行うことができるようにサポートを行います。

- ・認定看護分野の臨地実習は、認定看護分野ごとに定められた実習施設の要件を満たす岡山県内の医療機関で行う予定です。

*集合教育期間中は、新見公立大学で講義等を履修します。

★) 臨地実習指導者の要件

- 少なくとも1名以上は、施設に勤務する医師であること

【医師・歯科医師】

7年以上の臨床経験を有し、かつ医学教育・医師・歯科医師臨床研修における指導経験を有する者

【看護師】 以下いずれか

- ・特定行為研修修了者
- ・専門看護師及び認定看護師
- ・大学等での教育・指導経験を有する看護師

*当該分野の認定看護師がいない場合であっても研修施設とみなすことができる場合

【書類審査により、以下の基準を満たすと認められた場合】

- ①通算3年以上、摂食嚥下障害患者が多い保健医療福祉施設、または在宅ケア領域での看護実績を有すること。
- ②摂食嚥下障害患者を5例以上担当した実績を有すること。
- ③現在、摂食嚥下障害患者の看護に携わっていることが望ましい。

V. 科目及び授業時間数

科目名	教科目名	時間数*	
特定行為研修に該当する科目	共通科目	1) 臨床病態生理学	40 (30)
		2) 臨床推論	45.3 (34)
		3) 臨床推論：医療面接	14.7 (11)
		4) フィジカルアセスメント：基礎	30.7 (23)
		5) フィジカルアセスメント：応用	29.3 (22)
		6) 臨床薬理学：薬物動態	14.7 (11)
		7) 臨床薬理学：薬理作用	45.3 (34)
		8) 臨床薬理学：薬物治療・管理	
		9) 疾病・臨床病態概論	40 (30)
		10) 疾病・臨床病態概論：状況別	14.7 (11)
		11) 医療安全学：医療倫理	30.7 (23)
		12) 医療安全学：医療安全管理	
		13) チーム医療論（特定行為実践）	30.7 (23)
		14) 特定行為実践	
	合 計		[336.1(252)]
区分別科目	実習	1) 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	22.7 (17)
		A) 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	5症例
		B) 脱水症状に対する輸液による補正	5症例
	合 計		[22.7時間+実習]
認定看護師分野	共通科目	15) 指導	16
		16) 相談	16
		17) 看護管理	16
		合 計	
	専門科目	1) リハビリテーション総論	15
		2) 摂食嚥下障害病態論	30
		3) 摂食嚥下機能評価論	30
		4) 摂食嚥下障害看護技術論	30
		5) リスクマネジメント論	30
		6) 摂食嚥下障害援助論Ⅰ	30
		7) 摂食嚥下障害援助論Ⅱ	15
		8) 摂食嚥下障害援助論Ⅲ	30
		9) 摂食嚥下障害援助論Ⅳ	15
	合 計		[225時間]
		1) 統合演習	15
		2) 臨地実習	150
		合 計	
全教科目合計		[796.8時間]	

*時間数は45分を1時間で記載しています。

*特定行為研修に該当する科目は、()内に60分を1時間に換算した時間を併記しています。

VI. 受講者選抜試験実施要項

1. 募集人員

教育課程	募集人員
摂食嚥下障害看護	4名

* 区域内該当者を優先 (p.9「6.受講者選抜」参照)

2. 試験科目・日程・会場

1) 試験科目

(1) 筆記試験 【専門科目・小論文】

(2) 面接試験

2) 試験日程及び実施時間

2026年10月3日(土)、〈予備日〉10月4日(日)

試験方法	試験科目	配点
筆記試験	専門科目	100点
	小論文	100点
面接試験	面接	100点
合計		300点

* 志願者が多数の場合は、10月3日(土)、4日(日)の2日間にわたって試験を実施する場合があります。

出願者には、9月下旬頃、受験票とともに試験日程及び実施時間を郵送にてお知らせします。

3) 試験内容

試験科目	試験内容
専門科目	【マークシート方式(四肢択一)】計40問 ・一般医学、看護の基礎知識(20問) ・摂食嚥下障害の理解に必要な基礎知識(10問) ・摂食嚥下障害看護に関連した基礎知識(10問)
小論文	【分野における状況設定問題(記述)】 ・臨床場面における患者の状況に関して、論理的思考能力、判断力、および文章表現能力を問う。
面接	一人15分程度の個人面接を行う。

4) 試験会場

公立大学法人新見公立大学

5) 受験上の注意事項

- (1) 筆記試験は、試験開始後20分以内の試験室入室に限り受験を認めます。
ただし、試験時間の延長は認めません。
- (2) 筆記試験、面接試験のいずれかひとつでも受験しなかった者は、受験を辞退した
ものとして取り扱います。
- (3) 試験時間中に使用を許可する物は、鉛筆（シャープペンシル可）、消しゴム、鉛
筆削り、時計（計時機能のみのもの）に限ります。
- (4) 試験当日は受験票を必ず持参し、常に携帯してください。受験票を忘れた者は、
係員の指示に従い、仮受験票の交付を受けてください。
- (5) 携帯電話は、試験室入室の前に電源を切っておいてください。
- (6) 昼食は各自で用意してください。
- (7) 試験会場では、係員の指示に従ってください。
- (8) 試験当日の体調管理には十分注意してください。
- (9) 体調不良等により受験できなかった場合においても、追試験等の特別措置及び
受講検定料の返還はいたしません。

3. 受験資格

受験資格については、以下の要件をすべて満たしているものとする。

- 1) 日本国の看護師免許を有すること。
- 2) 看護師免許を取得後、通算5年以上^{注1)}実務研修^{注2)}をしていること。
- 3) 摂食嚥下障害看護分野の実務研修^{注2)}を行っていること。
 - (1) 摂食嚥下障害患者が多い保健医療福祉施設、または在宅ケア領域での看護実績を
通算3年以上^{注3)}有すること。(フルタイム勤務でない場合には、1,800時間以上
の勤務時間をもって1年相当とみなします。)
 - (2) 摂食嚥下障害患者を5例以上担当した実績を有すること。
 - (3) 現在、摂食嚥下障害患者の看護に携わっていることが望ましい。

注1) 2026年7月31日時点で看護実務経験が60か月以上であることを意
味する。

注2) 実務研修とは、看護実務経験を意味する。

注3) (1)～(3)で示している看護実務経験を意味する。

通算3年以上とは2026年7月31日時点で通算36か月以上を意味す
る。

4. 出願手続

1) 願書受付期間

2026年9月1日(火)～ 2026年9月11日(金) 17:00 【必着】

2) 提出書類

- (1) 受講願書【様式1】
- (2) 履歴書等【様式2-1、2-2、2-3】
- (3) 実務経験報告書【様式3-1、3-2】
- (4) 勤務証明書【様式4】
- (5) 推薦書【様式5】 * 離職中の場合は提出不要
- (6) 志望理由書【様式6】
- (7) 事例報告書【様式7】
- (8) 特定行為研修自施設情報【様式8】
- (9) 写真票及び受験票【様式9】
- (10) 看護師免許証写し (A4版縮小コピー) 1部
- (11) 受講検定料振替払込受付証明書【様式10】
- (12) 受験票返信用レターパックプラス (600円赤色) 返信宛先明記
- (13) 住民票記載事項証明書【様式11】(2026年3月31日以前から新見市に住
所を有している者のみ。但し、新見市内の医療機関に勤務している場合は不要。)

提出書類に不備がある場合は、受理できないこともありますのでご注意ください。

* 写真票、受験票の受験番号欄は記入しないでください。

* (1)~(11)及び(13)【様式1~11】は、新見公立大学ホームページ
(<https://www.niimi-u.ac.jp/>) よりダウンロードしてください。

* 出願に際しご不明な点等ありましたら、教育課程担当へお問い合わせください。

3) 提出方法

レターパックプラス (600円赤色) で期日までに下記あてに郵送してください。

「品名欄」に **摂食嚥下障害看護認定看護師教育課程出願書類在中** と明記してください。

〒 718-8585 岡山県新見市西方 1263 番地 2

公立大学法人新見公立大学

摂食嚥下障害看護認定看護師教育課程 担当 宛

* 直接持参による提出も可能です。

(その場合は、上記宛先を明記した封筒に入れ提出してください。)

4) 受講検定料

【受講検定料】 50,000円(税込)

【振込金融機関】 中国銀行 新見支店

(口座番号) 普通口座 1521703

(口座名称) 公立大学法人新見公立大学 理事長 公文裕巳

(コウリツダ イガ クホウジ ヲニイモウリツダ イガ ク リジ チョウ ケン ヒロミ)

振込依頼人名欄に受験者の氏名を記入して上記口座に振込みのうえ、振込みを確認できるもの(明細書等)を【様式10】に貼付してください。インターネットバンキングを利用する場合は、振込完了を確認し、「振込明細照会」を印刷して添付してください。

*原則として本学から領収証の発行はいたしません。

*既納の受講検定料は、原則として返還できませんのであらかじめご了承ください。

*振込手数料は、各自ご負担ください。

5. 受験票の発行

提出書類一式を審査し、受験申請者により同封された返信用封筒を用いて受験票を郵送する。

*試験日の5日前までに受験票の届かない方は、教育課程担当までご連絡ください。

*受験票は、受験時に必ず携帯してください。

6. 受講者選抜

受講者選抜は筆記試験及び面接試験により実施し、その成績を新見公立大学認定看護師教育課程受講者選抜委員会において審議し決定します。

専門科目、小論文及び面接の結果を総合的に判定して合否を決定します。

なお、同点の場合は面接の得点が高い者を上位とします。

また、専門科目及び面接には合格判定基準点を設け、基準に満たない場合は、総合点にかかわらず不合格とすることがあります。

1) 初めに、合格判定基準を満たした受験者のうち、総合点の高い「区域内」受験者1名を合格とします。

2) 次に、合格判定基準を満たした全ての受験者のうち、総合点の高い上位3名を合格とします。なお、上記1)の該当者がいない場合は、総合点の高い上位4名を合格とします。

*「区域内」とは、本人が入講の日の属する月の初日において引き続き1年以上新見市内に住所を有する場合又は1年以上新見市内の医療機関に勤務する場合とし、「区域外」とはそれ以外の場合とし、その認定は、住民基本台帳等により行います。

7. 個人情報の利用目的

「公立大学法人新見公立大学における個人情報の適正な管理に関する規程」に基づき、個人情報の取得・利用を適正に行います。出願書類により取得した個人情報は、以下の目的で使用し、それ以外の目的に利用することはありません。

- 1) 受講試験（出願処理、受験票発送、試験実施、成績処理、合格発表、通知等）に関する業務、入講手続に関する業務及び付随する業務
- 2) 入講に伴う事務（受講手続等）、受講料の収納事務及び付随する事務

8. 合否の通知

1) 合否通知

- (1) 合格者の受験番号については、2026年10月16日（金）11：00に新見公立大学ホームページ上で発表します。あわせて、合格者に対し、結果を郵送で通知します。
- (2) 電話やメールでの合否の問い合わせには対応しません。

2) 追加合格

- (1) 受講手続を締め切った結果、定員に欠員が生じた場合は、2026年11月5日（木）以降に合格者の追加を行うことがあります。
- (2) 追加合格は、電話により直接受験者に通知します。追加合格者の受講手続は、追加合格連絡の際に改めて説明します。
- (3) 追加合格について、電話やメールでの合否の問い合わせには対応しません。

9. 受講手続

1) 受講手続

- (1) 受講手続方法は、合格通知時に書類で案内します。
- (2) 受講手続期間は、2026年10月21日（水）～ 2026年11月4日（水）17：00【必着】です。

(3) 納付金

①入講料【受講手続き時、納付】

	入講料
区域内	35,000円（税込）
区域外	50,000円（税込）

②受講料（年間）【入講後、納付】

	受講料
区域内	965,000円（税込）
区域外	1,050,000円（税込）

- * 区域内 (p.9「6.受講者選抜」参照)
- * 既納の入講料・受講料は、原則として返還できませんのであらかじめご了承ください。
また、退学、休学の際についても、既納の受講料等は、原則として返還できません。
- * 新見公立大学後援会会費 (10,000円/年) が別途必要です。

(4) その他の費用

受講中の交通費、宿泊費、パソコン等の機器、通信費、書籍等の教材費その他受講に必要な費用は自己負担となります。

10. 修了要件

本教育課程を修了するには、次の要件をすべて満たす必要があります。

- ・定められたすべての教科目を修得していること
- ・修了試験に合格していること
- ・教員会で修了を認められていること

11. 情報開示

1) 試験内容等の開示

次の(1)(2)について、閲覧が可能です。

- (1) 前年度筆記試験「専門科目」の試験問題
- (2) 前年度筆記試験「小論文」出題内容

閲覧場所：新見公立大学内

開示期間：2027年5月6日(木)～

2) 試験結果の開示

受験者のうち希望者には、個人の試験得点結果(各科目の得点、総得点)を開示します。開示受付期間内に教育課程担当へ下記書類を提出してください。

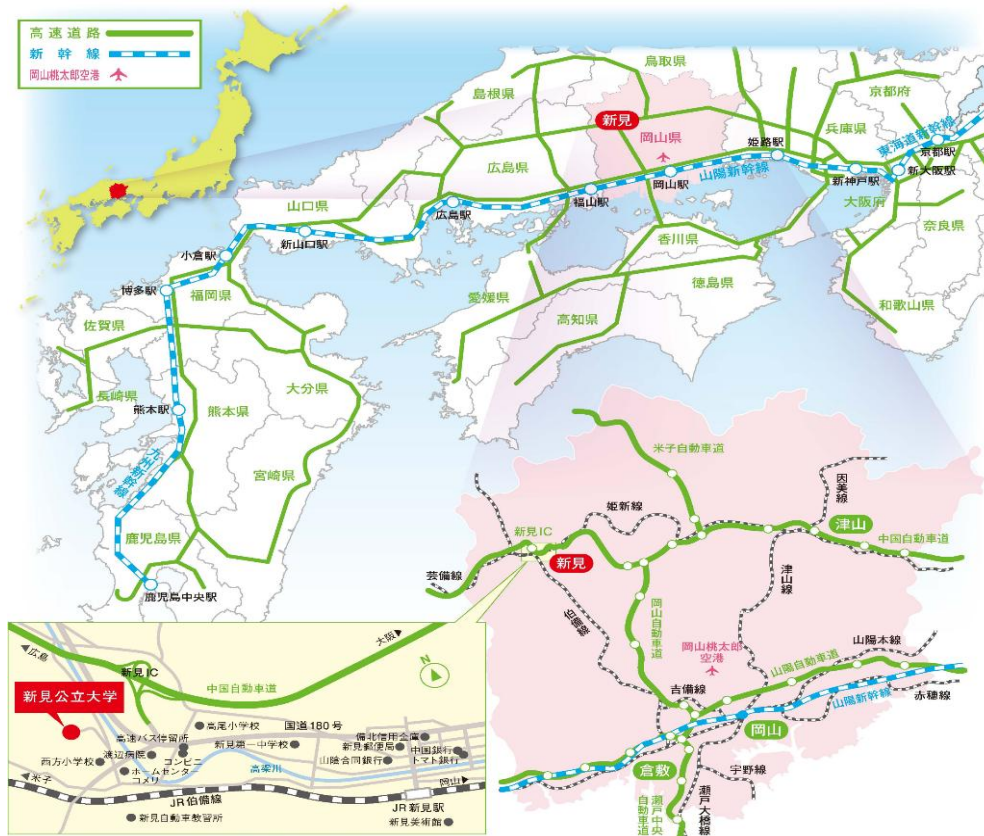
(1) 提出書類等

- ・成績開示請求書(請求者氏名等記載のこと)〈任意様式〉
- ・返信用封筒(長3サイズ、返信先住所記載、320円分(特定記録郵便)の切手添付のこと)
- ・本学受験票(原本)

(2) 開示受付期間

2027年5月6日(木)～2027年5月31日(月)【消印有効】

(会場までの案内図)



(公共交通案内)

JR 利用 新見駅までの所要時間		車利用 新見ICまでの所要時間		飛行機利用 岡山桃太郎空港までの所要時間	
岡山 — 約1時間	松江 — 約1時間30分	大阪 — 約3時間	福山 — 約1時間30分	羽田 — 1時間15分	
倉敷 — 約50分	高松 — 約2時間	姫路 — 約2時間	広島 — 約2時間	那覇 — 1時間50分	
東京 — 約4時間30分	松山 — 約3時間30分	佐用 — 約1時間30分	鳥取 — 約2時間30分	札幌 — 1時間50分	
名古屋 — 約2時間30分	高知 — 約3時間30分	岡山 — 約1時間30分	米子 — 約1時間30分		
新大阪 — 約2時間	博多 — 約3時間	倉敷 — 約1時間30分	松江 — 約2時間		
広島 — 約1時間30分	熊本 — 約3時間30分	三次 — 約1時間	高松 — 約2時間		
鳥取 — 約2時間	鹿児島 — 約4時間				

新見駅からの所要時間	新見ICからの所要時間
JR新見駅下車	新見IC下車
タクシー 5分 1.9km	車 2分 0.7km
岡山桃太郎空港からの所要時間	
岡山桃太郎空港	岡山桃太郎空港
岡山桃太郎空港リムジンバス 30分	JR岡山駅乗車
岡山桃太郎空港リムジンバス 35分	JR倉敷駅乗車
	伯備線(特急やくも) 1時間
	伯備線(特急やくも) 50分
	JR新見駅下車
	タクシー 5分 1.9km

*交通アクセス、所要時間などは諸事情により変わることがあります。

(JR 利用の所要時間に乗り換え時間は含みません。)

【連絡先】

〒 718-8585 岡山県新見市西方 1263 番地 2

公立大学法人新見公立大学

摂食嚥下障害看護認定看護師教育課程 担当（教務課内）

TEL : 0 8 6 7 - 7 2 - 0 6 3 4

FAX : 0 8 6 7 - 7 1 - 2 3 3 7

E-mail : cn-enge@niimi-u.ac.jp